

交通政策に関する基本方針

1. 概要

市で実施しているふれあい号、デマンド交通運行事業等の各交通施策については、市民の足として活用される一方、さまざまな要望があるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、近年ではその利用状況にも変化がみられることから、全庁横断的に市の交通施策の見直しを検討した。

2. 個別事業の検討

(1) ふれあい号運行事業

① 現状と課題

- ・利用者数は、過去9年間の全体の推移を見ると減少傾向にある一方、運行委託料については、人件費・燃料費の高騰等を理由に年々増加している。

② 代替事業の検討

【就労継続支援事業所B型へ通所する障がい者への代替事業】

- ・障がい者福祉事業所による送迎サービスの導入

【その他の利用者への代替事業】

- ・デマンド交通運行事業の利用料金の一部見直し検討

③ 新たな事業の検討

- ・運転免許証自主返納啓発事業

【今後の方向性】

- ・利用者の減少や費用対効果の観点から、ふれあい号を廃止する。
- ・代替となる事業及び新たな事業の導入を検討する。

(2) デマンド交通運行事業

① 現状と課題

- ・利用者数は、コロナ禍による行動制限期間中は減少したが、令和4年度はコロナ禍前の状況まで戻ってきている。一方で、路線バスが不通の地域等から、志木駅等へ移動する場合は距離が長くなり、利用料金が高くなる状況にある。

② 乗合型デマンド交通の導入の検討

1台のタクシーに複数人が同乗する「乗合型デマンド交通」の導入を検討した結果、以下の課題があるとの結論になった。

- ・事前予約が必要であるとともに、個々の利用者宅経由になり、現状のように電話してすぐに利用することができない。
- ・既存の交通機関に与える影響が非常に大きい。

【今後の方向性】

- ・現状のデマンド交通については、利用者も多く、市民の移動手段として有効性が高いため、今後も事業を継続する。
- ・一方で、利用料金の設定に関して、長い距離を移動する際の負担が大きくなって

いることから、料金形態については見直しを検討する。

- ・乗合型デマンド交通については、市域の小さい本市では、運行許可など課題が多く導入は困難である。

(3) シェアサイクル実証実験事業

① 現状と課題

- ・利用者数については、年々増加傾向にあり、本市の公共交通機能を補完する交通インフラとして定着してきている。また、近隣市でも同一事業者による実証実験を実施しており、市内利用者の移動先は半数以上が市外となっている。

【今後の方向性】

- ・利用者が増加し、市民の足として定着してきていることから、市民ニーズの把握や利用状況分析を踏まえ、近隣市とも調整しながら継続して実施する。
- ・市全域にステーションが設置されることで、公共交通機能を補完する役割を担うことができることから、公共用地についても、引き続き無償で提供していく。

(4) 民間路線バス事業に係る経費の一部負担

① 現状と課題

- ・国際興業株式会社が運営する志04系統（志木駅東口～柳瀬川駅線）・志04-2系統（志木駅東口～志木市役所前～柳瀬川駅線）については、同社にて令和5年度で廃止する決定が令和4年12月になされた。この決定を受け、市と同社にて代替手段の協議・検討を重ねたが、現在のルートを維持した路線バスの運行は物理的に不可能（代替車種の回転半径の影響）との結論に至ったものである。
- ・なお、志04-3系統（志木の杜～志木駅東口線）については、引き続き運行が検討されているため、運行時間帯の拡大について市から要望していく。

② 市が運行するコミュニティバス導入の検討

誰でも利用することができ、どのバス停にも自由に乗り降りができる「コミュニティバス」の導入を検討した結果、次の課題があるとの結論になった。

- ・9平方キロメートルの小さな市域に対してバス路線は20系統、バス停は100か所以上あることから、既存の交通機関の存廃に影響を及ぼすコミュニティバス等の新たな交通施策の実施は民業圧迫の観点から難しい。
- ・深刻な運転手の不足、コロナ禍及び燃料価格の高騰等による経営環境の悪化から、路線バスでは、令和5年に26年ぶりの運賃値上げを行う厳しい状況下にある。

【今後の方向性】

- ・国際興業株式会社の決定により、志04系統及び志04-2系統の路線バスの廃止となる。志04-3系統については、朝の時間帯以外の運行拡大を含め、今後も運行されるよう、民間バス事業者に引き続き要望していく。また、上宗岡3丁目地区、館地区・幸町地区への新規路線運行の検討も民間バス事業者に引き続き要望していく。
- ・コミュニティバスについては、既存バス路線の減便や撤退に繋がりにくい等の理由から導入は困難である。

3. 令和6年度以降の交通政策の方向性（まとめ）

【廃止するもの】

- ・ふれあい号運行事業

【民間事業者が廃止を決定したもの】

- ・路線バス 志04系統、志04-2系統

【新規・拡充の方向で検討を進めるもの】

- ・デマンド交通運行事業 …… 料金の一部見直しを検討する。
- ・シェアサイクル実証実験 …… 本格実施に向け、継続して実施する。
- ・運転免許証自主返納啓発事業 …… 新規事業として実施を検討する。

	ふれあい号	路線バス 志04 志04-2	デマンド交通	シェアサイクル	免許返納啓発
令和5年度	実施	実施 (民間)	実施	実証実験	
令和6年度	廃止	廃止 (民間)	拡充	継続実施	実施
令和7年度			↓	↓	↓